

31:21 あなたは自分のために標柱を立て、道しるべを置き、あなたの歩んだ道の大路に心を留めよ。おとめイスラエルよ。帰れ。これら、あなたの町々に帰れ。

31:22 裏切り娘よ。いつまで迷い歩くのか。主は、この国に、一つの新しい事を創造される。ひとりの女がひとりの男を抱こう。」

31:23 イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。「わたしが彼らの捕われ人を帰らせるとき、彼らは再び次のことばを、ユダの国とその町々で語ろう。『義の住みか、聖なる山よ。主があなたを祝福されるように。』」

31:24 ユダと、そのすべての町の者は、そこに住み、農夫も、群れを連れて旅する者も、そこに住む。

31:25 わたしが疲れたたましいを潤し、すべてのしぼんだたましいを満たすからだ。

31:26 ・ ・ ・ここで、私は目ざめて、見渡した。私の眠りはこちよかった。 ・ ・ ・

31:27 見よ。その日が来る。 ・ ・ ・主の御告げ。 ・ ・ ・その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家に、人間の種と家畜の種を蒔く。

31:28 かつてわたしが、引き抜き、引き倒し、こわし、滅ぼし、わざわいを与えようと、彼らを見張っていたように、今度は、彼らを立て直し、また植えるために見守ろう。 ・ ・ ・主の御告げ。 ・ ・ ・

31:29 その日には、彼らはもう、『父が酸いぶどうを食べたので、子どもの歯が浮く。』とは言わない。

31:30 人はそれぞれ自分の咎のために死ぬ。だれでも、酸いぶどうを食べる者は歯が浮く

のだ。

回復の約束、その具体的な描写が続きます。そこには「義の住みか」というような、正義がもたらされます。不正や不公平に悩まされることはもうないのです。また「疲れたたましいを潤し」とあるように、主の癒しと慰れがあります。また満たしの祝福があります。そして「人間の種と家畜の種」とあるように、主の繁殖と繁栄があります。また「父が酸いぶどうを食べたので、子どもの歯が浮く。」というように、理不尽な親子関係の影響はありません。

これらは私たちの回復にも必要なものです。イスラエルのように、自分自身から蒔いた種のような苦難もあるかもしれません。それでも主は、回復の約束をくださるのですから、その主のあわれみに信頼して、希望を持ち、主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

